

Mr. Chulananda Perera

私は 21 世紀がもう目の前に近づきつつある頃、アジア防災センター (ADRC) に来ました。私は滞在中にここで非常に多くのことを学び、言葉で言い表すことは困難です。とりわけ、情報技術や戦略、GIS を使った防災対策技術などは、疑いもなく私が仕事をしていく能力を高めてくれたと思います。このことは、防災や減災の技術をより高めていくことを通じて、共通の目標である持続可能な社会経済発展に結びつけていくことにつながるものだと思います。



実際、Visiting Researcher プログラムは、メンバー国における防災対策の基礎的知識と実用のあいだのギャップを埋めるものだと考えられます。さらにこのプログラムは、地域におけるより効果的な防災対策を考えていくために、日本のさまざまな分野の研究者、各国の関連機関、国際的な研究者が、ともにそれぞれの専門性を生かして行動していくことを可能にしています。

災害の多い国から来た Visiting Researcher として、こうした人的交流とともに ADRC で情報技術に実際に触れることができ、本当に協力的で、専門的で、やりがいのあり、満足できる研究のための素晴らしい環境を提供していただけたと思います。

最後に、ADRC の防災分野における多大なる貢献と、故郷を離れていることを忘れさせてくれるくらいの支援をしてくれた優しく、知的なスタッフの皆様に感謝の意を述べたいと思います。

(Visiting Researcher ADRC / Deputy Director, National Disaster Management Center, Ministry of Social Services, Sri Lanka)